



# 明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第79号 平成21年9月発行

## ○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



## 山県北野地域 川と森の活動体験による交流

- ・ 森林の間伐整備、草木染を体験（8月18日）
- ・ 武儀川、石田川を楽しむ！！（8月19日、20日）

## ○森林の間伐整備、草木染を体験

8月18日（火）～20日（木）、岐阜市少年自然の家にて、「長良川流域子ども協議会」の主催で、子どもたちの川と森の活動体験が行われました。参加者は長良川流域に暮らす、上流は郡上市から下流は桑名市までの小・中学生約100名です。

初日の18日には、5年生以上がヒノキ人工林の間伐体験、4年生以下がヒノキを使った草木染め体験に取り組みました。

ヒノキ人工林の中は、間伐が行き届かず薄暗くなっていました。森林が暗いと木は大きく育ちません。**人工林を育てるためには人の手入れが不可欠**である事を実感してもらえたのではないかと思います。

間伐したヒノキの葉を使った草木染めでは、緑の葉を煮出した液でハンカチが鮮やかな赤茶色に染まり、一同驚きの声を上げました。この想像を越えた変化も、まさに自然の面白さのひとつですね。



薄暗いヒノキ林の様子を見学



みんなでヒノキ林の間伐に挑戦！



ヒノキの葉の抽出液で、ハンカチの草木染めをしました



武儀川の水際をタモ網で「ガサガサ」したり、川底の石の裏に潜んでいる生き物を捕まえました。また、捕まえた生物から、武儀川の水質を確認しました。

## ○武儀川、石田川を楽しむ！！

2日目では、武儀川での川の体験活動を行いました。大きな川幅をいっぱい活用して、ボート漕ぎの体験やライフジャケットを着用しての遊泳、レスキュー訓練も行いました。川での自然体験においては、川の流れへの対処法を学ぶことが非常に重要です。

また、魚釣りも、既製品に頼るのではなく、竹林から切り出した竹で作った竿で挑戦です。昔ながらの簡単な道具でも結構釣れることに子どもたちのみなならず、大人も驚いていたようです。

一方、3日目の石田川では、川に残された自然環境と捕まえた生き物がどのような関係にあるのか学ぶ生き物調査を行いました。捕まえたタナゴ類や二枚貝等、そして石田川の環境と合わせ、自然とはそれらすべてが繋がりがあって成り立っていることがわかりやすく解説されました。



武儀川でもボート、遊泳、釣りなど様々な体験をしました。日頃の川遊びではなかなかできないような体験が出来たのではないのでしょうか。子どもたちは皆、大喜びでした！



小さいながら、豊かな環境が残されている石田川。様々な生きものたちを見つけることができました。



## ○おわりに

3日間の活動を通して、子どもたちが次第に逞しく生き活きと活動する姿を目にして、改めて自然の力の素晴らしさを実感しました。やはり、体験に勝る自然学習はないのでしょうか。



郡上や桑名からも参加してくれた子ども達と一緒に「全国豊かな海づくり大会」マスコット、ヤマリンと記念撮影

## 岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6451） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html